

町内の福祉団体がつながり深める やまだ福祉まつりを開催

10月6日、町中央公民館などを会場に「第2回やまだ福祉まつり」が開催されました。2回目となるこのイベントは、町内の福祉団体の活動を町民に知ってもらうと同時に、震災後希薄となっていた団体同士のつながりを深くすることを目的に、開催しています。今回は、町内の15団体が協力し、バザーや飲食コーナー、各種体験コーナーなどを用意。来場者は団体ごとのいろいろな出店を楽しんでいました。このイベントの収益金の一部は、台風災害の義援金として被災地に寄付されます。



織笠コミュニティセンター 織笠地区皆で完成を祝う

9月29日、織笠コミュニティセンターで新築落成祝賀会が開催されました。これは、織笠地区コミュニティ推進協議会が主催したもので、織笠地区の多くの人々が集まりお祝い。当日は、佐藤澤利勝^{としかつ}会長のあいさつで祝賀会が始まり、黒森神楽による演舞や森上ブロックはまなす会の踊り、白石鶏舞保存会による鶏舞が披露され祝賀会を盛り上げました。また、白石ごっつもん会によるお蕎麦のお振る舞いがあり、織笠地区全域でコミュニティセンターの完成を祝いました。

ハローお孫ちゃん教室開催 孫育てに理解を深める

10月1日、保健センターで「ハローお孫ちゃん教室」が開催されました。初めて行われたこの教室は、子育て方法の変化に戸惑う祖父母や新しく祖父母になる人を対象に今と昔の育児についてや祖父母の役割を学ぶために開催。当日は、実際に今の育児方法での沐浴やおむつ交換、固形ミルクの調乳方法などを体験。また、現在子育てをしている母親の話を聞き、祖父母のサポートについて理解を深めました。参加者は、育児の変化に驚きながらも、今後の孫育てに意欲を高めていました。



平安荘でお祝いの会 豊間根の山口さん100歳に

10月3日、豊間根地区の山口キミさんが100歳を迎えられました。宮古市出身の山口さんは、結婚を機に豊間根に came。リンゴ栽培の管理作業をするなどして働き、3人の子どもに恵まれました。60歳頃に初孫が生まれてからは、孫の成長を楽しみに日々過ごしていたとのこと。80代にして、孫とのやり取りのために携帯電話やパソコンを使いこなしていたそうです。平安荘で行われたお祝いの会には、息子夫婦も出席。ご家族で山口さんの百寿を祝いました。



町のあだこ

今月の題字 中山 たかはる 騰陽さん（轟木小6年）



山田町総合防災訓練を実施 できるところから備えを

10月6日、山田町総合防災訓練が行われました。今年は地震および水害を想定した訓練を町内各地で実施。主会場となった船越家族旅行村では、各団体による炊き出し訓練や水防訓練、火災防御訓練などが行われました。町民参加型の訓練は、今年から各避難所で実施。初期消火訓練や煙体験訓練、心肺蘇生訓練などに、多くの町民が積極的に参加し、防災意識を高めていました。今年の参加者は750人。震災から8年が経過し、参加者が減少し続けています。できるところから災害への備えを始めましょう。



山王中学校の絆プロジェクト ダブル山中が観客魅了

10月5日、山田中学校で「東日本大震災復興絆プロジェクト2019」が行われました。これは秋田市立山王中学校が震災後に毎年行っているもので、被災地域を訪れて吹奏楽の演奏などを行っています。この日は、同校吹奏楽部の演奏のほか、郷土芸能クラブによる竿燈演技も披露。おはやしに合わせた竿燈演技に観客から大きな拍手が送られました。合同演奏を行った山田中学校吹奏楽部の面川もえ部長（2年）は「迫力と技術に圧倒されました。演奏がそろった時の一体感がとても気持ちよかったです」と、両校の絆の深まりを感じていました。

